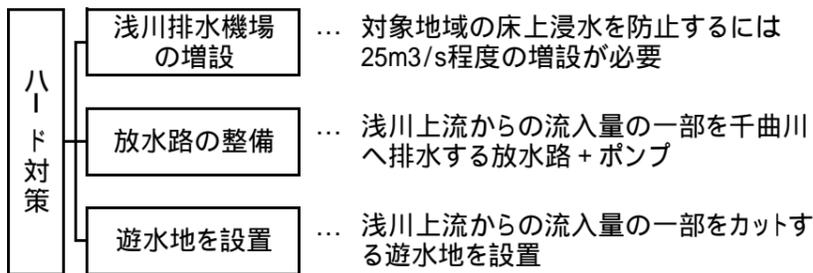


目 標

過去最大の被害をもたらした「昭和58年9月の台風10号による内水」と同規模の内水に対して、宅地部での床上浸水を防止する。

検 討 の 経 緯

これまでの検討結果 ~ 概略の規模を算出 ~



浅川流域協議会からの提言 (2003年12月1日)

内水対策の検討について

1. 排水機場の増設を是非要望する。
2. 排水機場の増設については、農家の負担増とならないようにして欲しい。
3. 遊水地を設ける等の検討をすべきである。
4. 排水機場の増設案、放水路案、遊水地案の組み合わせを研究すべきである。
5. 田子川合流点付近は優良農地。地元には有益な施設の兼用を考え、買い上げとして頂きたい。
6. 宅地 30cmの冠水ではなく、目標を 0cmとすべきである。
7. 都市排水については関係機関をあげて対策を進めるべきである。

今 回 の 検 討

調査内容の比較

これまでの検討

- ・水文資料収集
- ・計画対象河川調査
- ・内水被害調査
- ・地形調査(地図判読)
- ・流域状況調査
- ・想定湛水区域状況調査
- ・関連諸事業調査

- ・内水湛水特性の把握
- ・内水被害特性の把握

- ・内水処理方式の一次選定

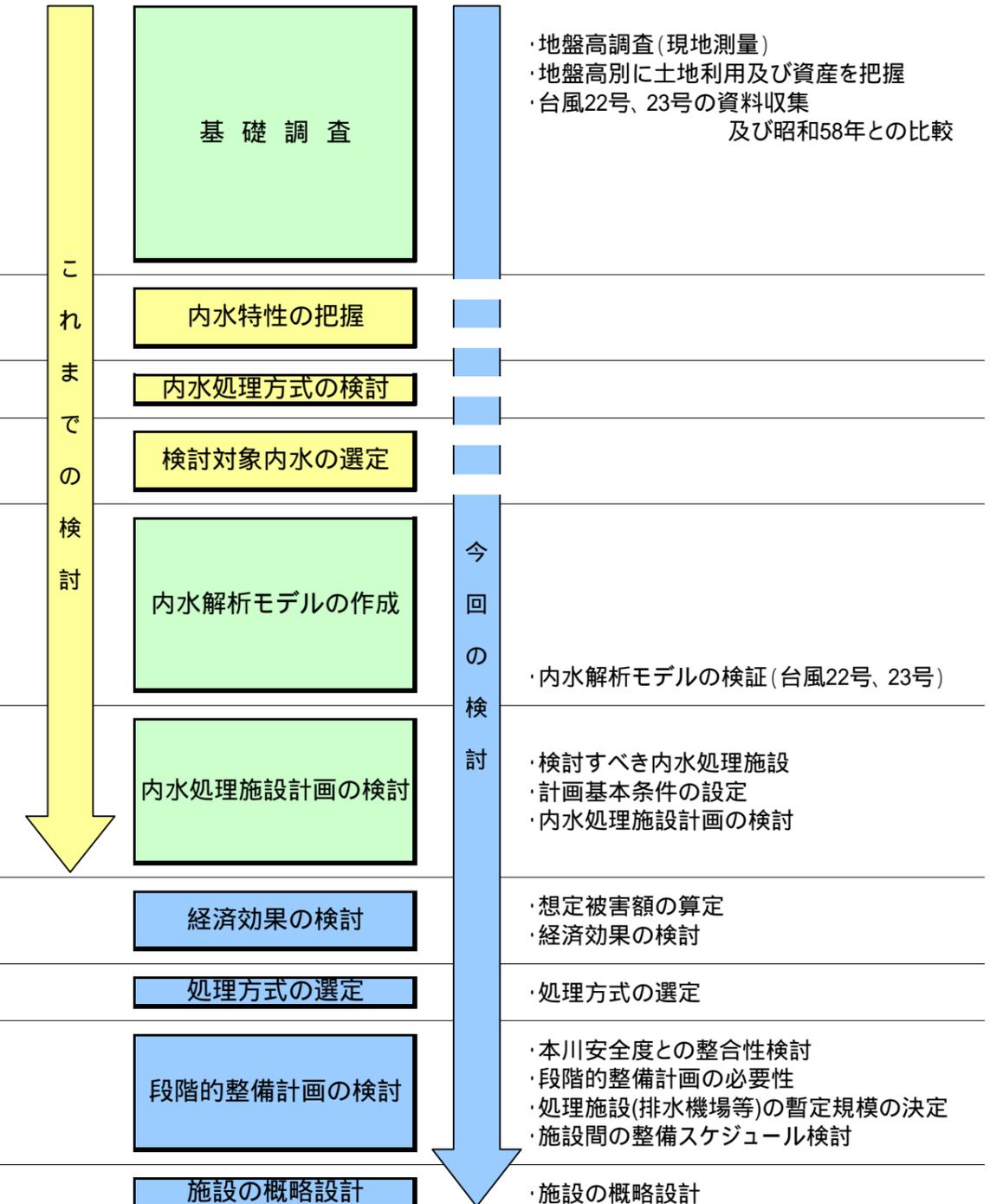
- ・検討対象内水の選定
(「昭和58年9月の台風10号による内水」を選定)

- ・外水位曲線(千曲川)の作成
- ・流出モデルの作成

- ・内水モデルの作成
- ・内水解析モデルの検証

- ・許容湛水位の検討
- ・検討すべき内水処理施設
- ・計画基本条件の設定
- ・内水処理施設計画の検討

(検討フロー)



- ・地盤高調査(現地測量)
- ・地盤高別に土地利用及び資産を把握
- ・台風22号、23号の資料収集
及び昭和58年との比較